

競 技 注 意 事 項

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

各種目の順位は3・4地区を合わせて男・女別に行う。但し、学校対抗は地区ごととする。

(各校1種目5名を得点対象とし、1位8点・・・、8位1点とする。)

2. 競技場（スタンド等）への入場について

- (1) 正面玄関入口の使用は競技役員のみとし、競技者はメインスタンド等の入口を使用する。開門時の入場は正面メインスタンド入口とする。
- (2) トラック内への出入りは、北西ゲートと南西ゲートを使用する。
- (3) 更衣室および室内練習場への出入りは、メインスタンド下北入口を使用する。
- (4) 学校受付、キャプテン集合および補助員の出入りは競技役員の指示に従うこと。

3. 練習について

- (1) 競技中の練習は、バックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。
- (2) 競技場内での練習は、ジョグはレーン外を使用し、1～2レーンは長距離ペース走用とする。その他のレーンについては下記のとおり。
〔ホームストレート〕
3～7レーン=直線からのスプリント練習 8レーン=100mH (1日目のみ) 9レーン=110mH
〔バックストレート〕
3～7レーン=リレー練習 8レーン=女400mH 9レーン=男400mH
※リレーバトン練習は1→2走と3→4走は第2コーナー、2→3走は第3コーナーで行う。各校で使
用したリレーのマーク(テープ)は必ず取り除くこと。
- (3) トラックを利用する練習は8時30分までとする。

4. 招集について

- (1) 招集場所は、メインスタンド下の室内練習場に設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻は次の通りとする。

招集時間	トラック	跳 躍	投 て き	棒 高 跳
開始時刻	30 分前	50 分前	50 分前	90 分前
完了時刻	20 分前	40 分前	40 分前	80 分前

- (3) 競技者は招集開始時刻までに腰ナンバーカードを各自受取り、開始時刻には招集場で待機し、競技者係より最終点呼をうけ、ナンバーカード、腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認をうける。
- (4) 最終点呼の代理は認めない。ただし、2種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は代理がその旨を競技者係に申し出ること。また完了時刻に遅れた者は、欠場とみなし出場させない。
- (5) 事前に欠場が判明している者は、欠場届を競技者係に招集開始前までに提出すること。用紙はプログラム添付のものを使用すること。
- (6) プログラム訂正については、総務まで申し出ること。
- (7) 混成競技のコールについて、1・2日目とも第1種目のみ招集場にて点呼をうける。

5. リレーについて

- ① オーダー用紙は第1組の招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙の提出

がない場合は欠場とみなす。オーダー用紙はプログラム添付のものを使用すること。

②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。

③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走る順番の変更は認められない。

④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集場所に待機し、点呼を受けること。

6. 競技中の留意点について

(1) スパイクのピンは、9mm 以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。本数は 11 本以内。

(2) 男 5000m、女 3000mは二段階スタートとする。グループ分けは出発係の指示に従うこと。競技会運営上、5000m 18分00秒、3000m 12分00秒、3000SC 11分30秒、の時点で残り1周以上の場合、レースを打ち切るので監察員の指示に従うこと。また、競歩種目では、ラスト1周で男子 5000mW は 30分、女子 5000mW は 33分を超える選手は競歩主任が競技を打ち切る。

(3) バーの上げ方は次の通りとする。

男 走高跳	1m50 練	55	60	65	70	75	以降 3cm
女 走高跳	1m20 練	25	30	35	40	45	以降 3cm
男 棒高跳	現場判断 練	2m80	3m00	20	40	60	80 4m00 以降 10cm
女 棒高跳	現場判断 練	2m00	20	40	60	70	以降 10cm

(4) トラック種目はタイムレースとする。フィールド種目はトップ 8 を行う。

(5) 跳躍種目はセクションラインを設ける（但し、走幅跳・三段跳は、1回は全員計測）。

走高跳【男子】 1m50 【女子】 1m25

走幅跳【男子】 5m20 【女子】 4m20

三段跳【男子】 11m00 【女子】 9m00

(6) 走幅跳・三段跳は 1・3 組（メインスタンド前トラック側）、2・4 組（メインスタンド側）で行う。女子三段跳はバックピットで行う。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を 1 組、バックスタンド側を 2 組とする。棒高跳は第二曲走路外側で行う。

(7) 砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。

7. やり及びボール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検査は、競技開始時刻の 90 分前より 30 分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

8. 表彰について

各種目 6 位入賞者は表彰状を正面入りロエントランス表彰係まで取りにくること。

総合得点は 3・4 地区それぞれ 1～6 位の学校に表彰状を授与する。

9. 救急処置について

競技開催中における怪我については応急処置の他は責任を負わない。

10. 阪奈和大会について（次年度は大阪で開催予定）

(1) 3・4 地区合わせて、男女それぞれにトラック 16 位（リレー種目は 12 位）、フィールド 8 位までが阪奈和大会に出場できる。ただし各種目 1 校 2 名までとする（混成競技は阪奈和大会で開催されない）。

(2) 競歩種目については、男 7 名 女 7 名が阪奈和大会に出場できる。

(3) 阪奈和対抗の出場資格記録は本大会の記録を申請する。

(4) 辞退する場合は、すみやかに各地区主任まで連絡をすること。

1 1. 来年度のナンバーカードについて

本大会の3・4地区それぞれ総合順位の上位6校に対して、上位校より来年度のナンバーを優先的に割り当てる。それ以外の学校については、従来通り申し込み順とする。

1 2. 競技場の使用について

(1) 通行禁止、使用禁止等の指示を厳守すること。

- ① スタンドから競技場トラック周辺に降りての応援は禁止。
- ② 芝スタンドの中段より下には、テントおよびシートを設置してはいけない。
- ③ メインスタンド中段通路より下、メインスタンド屋根下は、テントを設置してはいけない。
- ④ 部旗・横断幕等はバックスタンドか芝スタンドの外側フェンスに設置する。
- ⑤ 競技役員および補助員以外はフィールド芝生内への立入禁止。
- ⑥ トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用禁止。

(2) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置かない。

(3) スタンド等使用した場所は各校で責任を持って清掃する。また、競技場内に飲料水のボトル等を放置しないこと。

1 3. その他

(1) 顧問の受付がない学校の選手の出場は認めない。

(2) プログラムの配布冊数は参加人数より決める。冊数は別頁に記載してある。

(3) 補助員は各校1~2名出ること。補助員分担は別頁に記載してある。

(4) 集団での声援(応援)および不正な助言行動は自粛すること。

(5) 競技中に起こった怪我は、応急処置の他は責任を負わない。

(6) 記録は正面玄関外側の記録掲示板に掲示する。

(7) 盗難の発生や忘れ物が多いので、荷物等の管理は各校で十分注意すること。

(8) 競技終了時間の30分前には各校片付け・清掃を開始すること。なお、ゴミは各自持ち帰ること。

(9) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)および大会結果は、大阪陸上競技協会のウェブサイト(高体連3・4地区、<http://www.oaaa.jp/kotairen/34chiku/>)に記載されますが、関係以外には一切使用しません。